

2023年度
第7回 理事会議事録

2024年 2月 21日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2023年度 第7回理事会議事録

1. 日 時 2024年 2月 21日 (水) 9:20~12:00
2. 場 所 鉄鋼会館 805号室
3. 構 成 員 14名
4. 出席構成員 13名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議事次第
 - (1) 開会の辞
 - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
 - (3) 会長挨拶
 - (4) 前回理事会議事録の確認
 - (5) 審議事項
第1号議案 2024年度 事業計画(案)承認の件
 - (6) 報告事項
 - 1) 2024年度予算編成方針・前提について
 - 2) 委員会等活動状況報告
 - ① 中期ビジョン検討委員会
 - ② 人材育成委員会
 - ③ 運営委員会
 - ④ 技術者資格検討WG
 - ⑤ 建築鉄骨技能検討WG
 - ⑥ 凶面問題対応検討WG
 - 3) 一次加工工場の品質管理について
 - 4) 能登半島地震への対応について
 - 5) 特定技能外国人材対応について
 - 6) 青年部との意見交換会について
 - 7) 2024年度主要会議予定について
 - 8) その他 (①全鉄評 評価料値上げについて)
 - (7) その他の定例報告事項
 - 1) 構成員登録状況
 - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
 - 3) 2023年度主要会議日程
 - 4) 支部報告
 - (8) 閉会の辞

6. 議事要旨

(1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は大島理事が欠席し 13 名の理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

(3) 会長挨拶

永井会長より「年度末に向けて様々な課題がありますが、よろしく願いしたい。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2023 年度第 6 回理事会の要点を読み上げ、確認、了承された。

(5) 審議事項

第 1 号議案：2024 年度 事業計画(案)承認の件

2024 年度 事業計画(案)承認の件について、議案書[理 23-7-議 1] (p3-12) にそって、下記内容が説明された。

基本方針と会員共益・共済については平井総務部長から、技術開発・普及事業等については、新村技術部長から、それぞれ説明され、確認された。内容は以下の通り。

- ・事業計画は、1 月に発表している会長の年頭所感を基本として策定している。
- ・基本方針の概況は、2023 暦年の実績値を反映した記述とし、各基軸項目については、2024 年の個別の事業計画と整合させている。
- ・個別事業については、会員共益、技術関連ともに、2024 年の主要活動について、現時点で言及出来る範囲で具体的な活動内容を記載している。
- ・2024 年の新規の事業として、会員共益分野では「人づくり研修の開催」、技術分野では、「品質管理責任者講習制度への助成」を織込んでいる。
- ・一方、不透明な事業環境があり、基本方針及び各個別事業ともに、今後の状況変化、事業の具体化等を確認しながら、6 月の総会に向けて 3 月、5 月の理事会で引き続きご検討いただく予定。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認された。

(6) 報告事項

1) 2024 年度予算編成方針・前提について

2024 年度予算編成方針・前提について、配布資料 (p14-15) にそって平井総務部長から説明され、確認された。内容は以下の通り。

- ・先程ご承認いただいた事業計画を前提として、予算を作成する。次回 3 月の理事会にて、具体的な数値について説明させていただく。
- ・会費については規程に対し 10%減額、構成員等については足元 2023 年度末を

起点として策定する。

- ・2024 年度の新規の取組みとして、「品質管理責任者講習会」、「人づくり研修会」を予算化する。
- ・また、図面問題、物流の2024年問題、中期ビジョン対応等に関する費用も計上予定。

2) 委員会等活動状況報告

① 中期ビジョン検討委員会

中期ビジョン検討委員会について、議案書（p16-17）にそって、新村技術部長から説明され、以下の内容が確認された。

- ・佐藤理事が、委員長代理としてとりまとめを行っていくことが確認された。
- ・3月の理事会での報告に向けて、最終的なまとめを行っていく。

② 人材育成委員会

人材育成委員会について、大原総務部部長から説明され、以下の内容が確認された。

- ・2024年度は、「人づくり研修」のみを開催し、2025年度の研修については、ニーズを見据えながら、別途検討する。
- ・「人づくり研修」の1日目の内容（モチベーション、仕事のやりがい等）について、スピード感を持って検討を進める必要がある。
- ・「人づくり研修」については、会場手配の対応も考慮し、本日の理事会でのご承認後、会場手配に入りたい。
- ・4月の事務局長会議にて、「人づくり研修」を2024年度の活動として、説明する予定。

③ 運営委員会

「運営委員会」について、議案書（p20）にそって、妹尾委員長より、以下の内容が説明され、確認された。

- ・支部の位置付けの明確化に関しては、支部の設置目的、支部長の選任、責任と権限等について整理を行った。3月の理事会で諮問回答する予定。
- ・物流の2024年問題に関しては、荷降ろし時間、待機場所等のゼネコンへの申入れ内容及び、物流対応に伴う必要な経費、具体的な金額等についてWGで再整理中。
- ・業績調査に関して、回収率の向上、追加調査項目について委員会で検討中。事務局長会議等の機会を通じて、関係者へ調査活動への協力要請を行う予定。

④ 技術者資格検討WG

技術者資格検討WGに関しては、資格の価値向上の視点でまとめを行っていることが出雲理事から説明された。

報告書の中では、地方整備局との意見交換の機会を活用した、鉄骨業界の認知度向上の活動の必要性等も提案されるとの内容が報告された。

⑤ 建築鉄骨技能検討 WG

建築鉄骨技能検討 WG に関して、2 月末に向けて最終のまとめ作業を進めていることが、秋山理事から説明され、確認された。3 月の理事会で報告予定。

⑥ 凶面問題対応検討 WG

凶面問題対応検討 WG について、議案書 (p24) と別冊にそって、委員会活動については大原総務部部長から、要望文書の内容については、小貫専務より説明された。内容は以下の通り。

- ・凶面問題対応について、法律事務所から第一稿が出てきた。本文の「問題の経緯・前提」の作成はこれからだが、問題点と要望のポイントは概ね整理されている。今後第二稿を作成、修正の上、第三稿を最終と考えている。
- ・今後のスケジュールとしては、3 月の理事会で最終版を確認していただく予定だが、いきなりお見せして確認していただくのは難しいので、本日まだ仮版ではあるが、提示させていただいた。尚、本日お見せしている資料は、仮の物であり本理事会出席者限りで、取り扱いには注意していただく様お願いしたい。
- ・要望については、関係先毎に整理しているが、特に監督官庁への要望部分が今回の肝になる部分。業法違反の可能性の言及等、かなり踏み込んだ内容。
- ・凶面問題 WG としては、弁護士に対しては追加・修正等の要望を出し第二稿を作成中だが、理事の皆さんにも本資料を読み込んでいただき、2 月中を目途に、要望文書に対するご指摘等をいただきたい。
- ・今後の対応として、3 月 4 日の三役会では、弁護士からの第二稿と理事の皆さんからの意見を含めて議論を実施。その後、議論の内容を弁護士に伝え、第三稿を作成してもらおう。第三稿を 3 月理事会前に理事の皆さんに送付し、理事会の議論に臨むこととする。理事会での承認が得られれば、各県の理事長に署名をいただき、連名書を作成したい。その後、本要望書を携え、各関係先を訪問したいと考えている。
- ・要望文書については、要望先毎の鏡文をつけて提示することを考えている。
- ・3 月の理事会では、要望書の内容、要望先、対応スケジュールを含め、ご相談させていただきたい。その後、4 月から 5 月にかけて、要望書を各関係先に持って行ければと考えている。
- ・凶面問題による定量的な金額影響が提示できると、説得力が上がるのご指摘があり、WG で検討することとした。
- ・3 月の理事会は、本件を中心に議論に時間がかかることも想定されるので、開始を 13 時とすることが提案された。

3) 一次加工工場の品質管理について

一次加工工場の品質管理について、議案書 (p25) にそって、永井会長から説明があり、下記内容が確認された。

- ・一次加工工場の品質管理の問題については、地域間の問題意識の差、コス

トアップに関する懸念等が上がっていることもあり、あらためて実態調査、問題点の確認から検討をスタートしたい。本件、新年度にWGを設置して検討を進めることとした。

4) 能登半島地震への対応について

能登半島地震への全構協の対応について、議案書 (p26)にそって、平井総務部長から説明があった。

- ・石川県の組合から提出された被災の状況を前提に対応案を作成している。
- ・過去の災害対応を踏まえ、被災レベルを整理した上で、見舞金総額を算出した。
- ・具体的には、お見舞い金 290 万円を石川県の組合にお渡しすることとした。
- ・総額を石川県の組合に渡し、個別構成員への配分は、組合にお任せする。
- ・会費の減免についても、石川の組合からの要請に基づき対応する。

5) 特定技能外国人材対応について

特定技能外国人材対応について、議案書 (p27)にそって、平井総務部長から説明された。内容は以下の通り。

- ・特定技能に関する有識者会議の報告を踏まえ、2月13日に政府の対応が発表になっている。
- ・技能実習が行われている職種の内、対応する特定産業分野が設定されていないものについては、状況を確認した上で、特定産業分野への追加検討を進めるとの方針が出ている。
- ・経産省から法務省に対して、「鉄骨製造業」の分野追加の要望が出された。最終的に分野追加が認められた訳ではないが、まずは一歩前進した。

6) 青年部との意見交換会について

本日の「青年部との意見交換会」について、別冊資料にそって大原総務部長より説明があり、確認された。

7) 2024年度主要会議予定について

2024年度主要会議予定について、議案書 (p28)にそって、平井総務部長から説明された。理事会等の基本的なスケジュールは、概ね例年通りの日程であること、賛助会員との懇談会は9月、青年部との意見交換会は11月に予定されていること等が説明された。

8) 全鉄評 評価料値上げについて

全鉄評 評価料値上げについて、議案書 (p29-30)にそって、平井総務部長から説明された。

- ・国交省から、全国鉄骨評価機構が行っている工場審査に関する評価料の見直し

の連絡が来ている。人件費も含め、諸物価高騰が背景とのこと。

- ・国交省には直接訪問の上、今回の見直しの背景確認、ファブの状況説明等、認識の共有化を行ったが。国交省側は発表した内容で進める意向。
- ・実際の施行は2025年1月1日からであり、具体的には2025年度の審査から適用となる見通し。

(7) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

2024年2月21日時点の構成員数は、前回報告時(1月19日)より2社減少し、2,169社であること等が、議案書(p32-35)により報告された。

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2023年12月までの実績が出ており、暦年2023年の鉄骨需要量は前年比でマイナス11.6%、年間391万トンとなった。

3) 2023年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p37)により確認された。

4) 支部報告

- ・東北支部より、「諸物価高騰への対応」に関する文書について、支部間の情報共有の提案があり、継続議論となった。

他支部の情報については、議案書により配布され、時間の都合により説明は省略された。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

出席者名簿

| | | |
|----------|-------|-----|
| 会 長 | 永 井 | 毅 |
| 副 会 長 | 大 竹 | 良 明 |
| 専務理事 | 小 貫 | 武 |
| 理 事 | 佐 藤 | 正 記 |
| 〃 | 三 浦 | 隆 宏 |
| 〃 | 秋 山 | 順 一 |
| 〃 | 寺 田 | 健 信 |
| 〃 | 柏 原 | 正 明 |
| 〃 | 出 雲 | 津 芳 |
| 〃 | 妹 尾 | 一 人 |
| 〃 | 登 尾 | 昌 弘 |
| 〃 | 岩 永 | 洋 尚 |
| 理 事(相談役) | 米 森 | 昭 夫 |
| 監 事 | 村 上 | 眞 樹 |
| 〃 | 五 月 女 | 久 和 |

理事総数 14名 うち出席者 13名 [欠席：大島副会長]
監事総数 2名 うち出席者 2名